

公共交通を考えるワークショップ

## 第4回

この地域のくらしの足を  
どうしたらよいか？

みんなで考える  
ワークショップ

引田・代継・網代区域

《引田・湧上・代継》

日時：平成31年1月14日（月・祝）

午後2時～午後4時（予定）

場所：千代里会館



# ワークショップの実施にあたって

## 1) ワークショップの進め方

第1回（9月24日（月・祝））・・・開催済み  
「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」

第2回（10月13日（土））・・・開催済み  
「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

第3回（11月23日（金・祝））・・・開催済み  
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

地区にお住まいの方（抽出）に  
アンケート調査を実施予定

第4回（本日）  
「地域の交通手段を考えよう」

⇒ワークショップの結果を、地域の案としてまとめます。

# ワークショップの実施にあたって

## 2) 本日のワークショップで行いたいこと

第3回ワークショップのふりかえり

地区へのアンケート調査結果の確認

この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認

グループワーク

(1) 交通サービス（候補）に優先順位をつけると、  
どのようになりますか？

(2) この地区に交通サービスを入れる際に、協力し  
ていただけることはありますか？



## 第3回ワークショップのふりかえり

### 「この地区の交通サービスの方向性（素案）」の確認

#### 1. この地区の交通サービスの目的（素案）

鉄道駅や病院、買物に行く、南北方向の交通を確保する。

##### 【いただいたご意見】

- 地域内においては「南北方向」が良いが、地域外においては市役所など東西方向にも配慮が必要。
- 「南北方向」を強調、限定する必要はない。

#### 2. 主な利用者の想定（素案）

- 高齢者
- 自分で車を運転できない方

##### 【いただいたご意見】

- お子さん、女子中高生などの安全性など、対象者を幅広く捉える。

### 3. 交通サービスの候補（素案）

分類	サービス内容	
1)南北方向の交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区と駅を結ぶシャトル便を運行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅まで行く交通（特に朝夕のアクセス）。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区と駅、病院、スーパー（イオンなど）などを巡る車両を運行する。</li> </ul>	（具体的なサービス内容は、要検討）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段丘の定点間を結ぶ車両を運行する。</li> </ul>	
2)ドアtoドアの交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。</li> </ul>	
3)定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まった路線と決まったダイヤで小型の車両を運行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10人以下の車両の場合は、一般的に乗合タクシーといわれる。</li> </ul>

#### 【いただいたご意見】

- ・「南北方向の交通」については、雨の日などにも対応できるようにしてほしい。

### 3. 交通サービスの候補（素案）

それぞれの交通サービスにはどのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

- サービス内容に関する具体的なお意見  
別紙「第3回ワークショップ結果概要」の「サービス内容に関するご意見」（3ページ）をご覧ください。

- 交通サービスのメリットとデメリット  
次ページの概要をご覧ください。

※メリットとデメリットについて、詳しくは、別紙「第3回ワークショップ結果概要」の「交通サービス（候補）のメリット・デメリット」（4ページ）をご覧ください。

## 交通サービスのメリットとデメリット（主なご意見）

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) 南北方向の交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地区と駅を結ぶシャトル便を運行する。</li> <li>• 地区と駅、病院、スーパー（イオンなど）などを巡る車両を運行する。</li> <li>• 段丘の定点間を結ぶ車両を運行する。</li> </ul>	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>運行間隔が課題。</u></li> </ul>
2) ドア to ドアの交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自宅の近くから目的地まで、必要な時に利用できる車両を運行する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>周りに気を使わず使いやすい。</u></li> <li>• <u>どこへでも行ける。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>タクシー補助については、その基準をどのようにするのか。</u></li> <li>• <u>費用がかかる。</u></li> </ul>
3) 定路線型の交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 決まった路線と決まったダイヤで小型の車両を運行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>外出の見通しが立てやすい。</u></li> <li>• <u>外出しやすい。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>るのバスのような一筆書きの路線は利用しづらく時間の自由度が少ない。</u></li> <li>• <u>運行時間を延ばせばそれだけ費用がかかる。</u></li> <li>• <u>中高生が定期利用すると、保護者負担が増える。</u></li> </ul>

# 地区へのアンケート調査結果の確認

## 1. アンケート調査の実施概要

### ○目的

区域にお住まいの方を対象に、公共交通に対する日ごろの考え方やニーズ、ワークショップで検討されている交通サービスの利用意向などについて、広く把握することを目的とする。

### ○調査対象

引田・代継・網代区域（引田・湧上・代継）に居住する世帯 ⇒各世帯から1名  
（548世帯。性別・年齢構成に配慮して抽出）

### ○調査方法

郵送配布、郵送回収

### ○調査期間

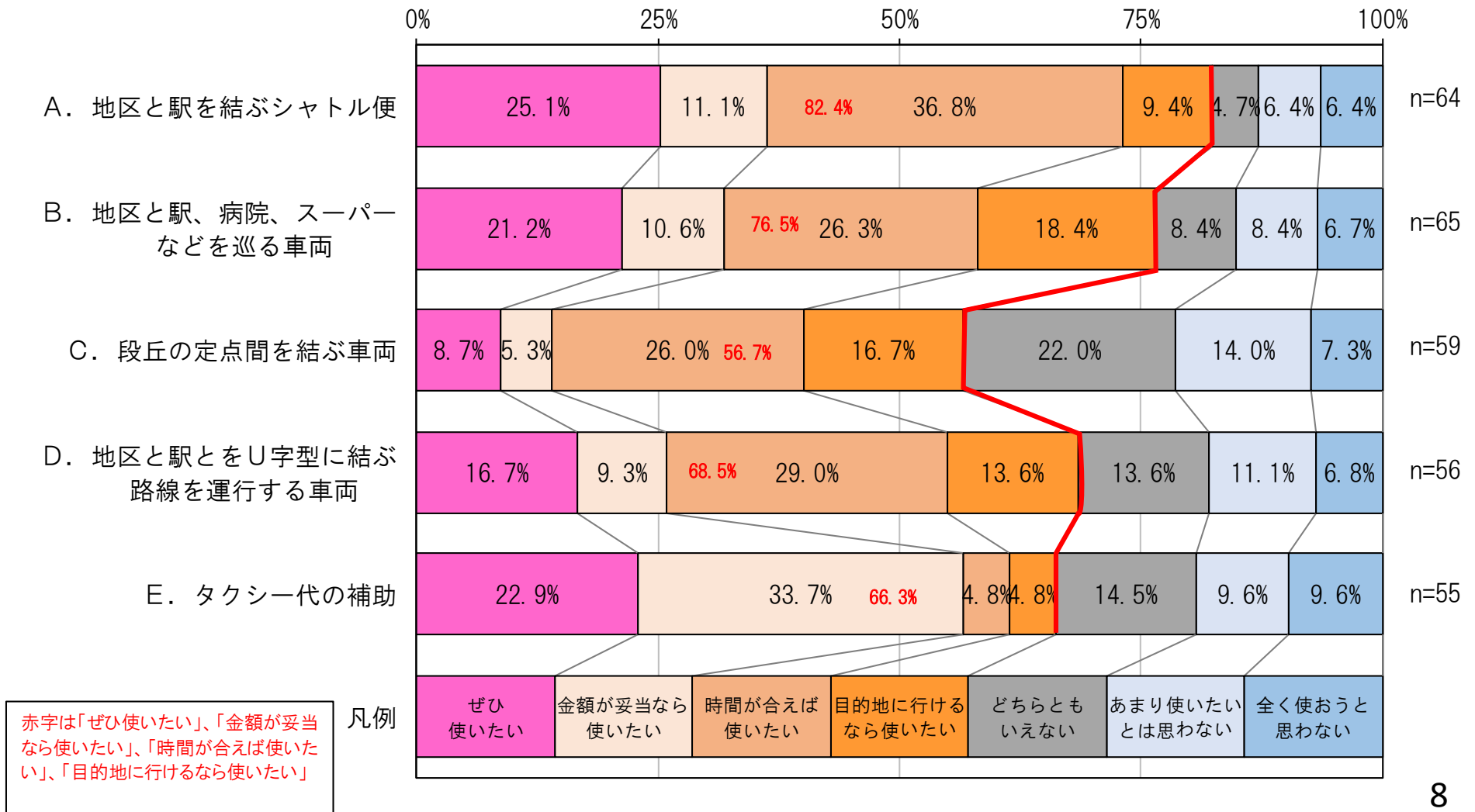
2018年12月14日～12月25日



## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■利用したいサービス

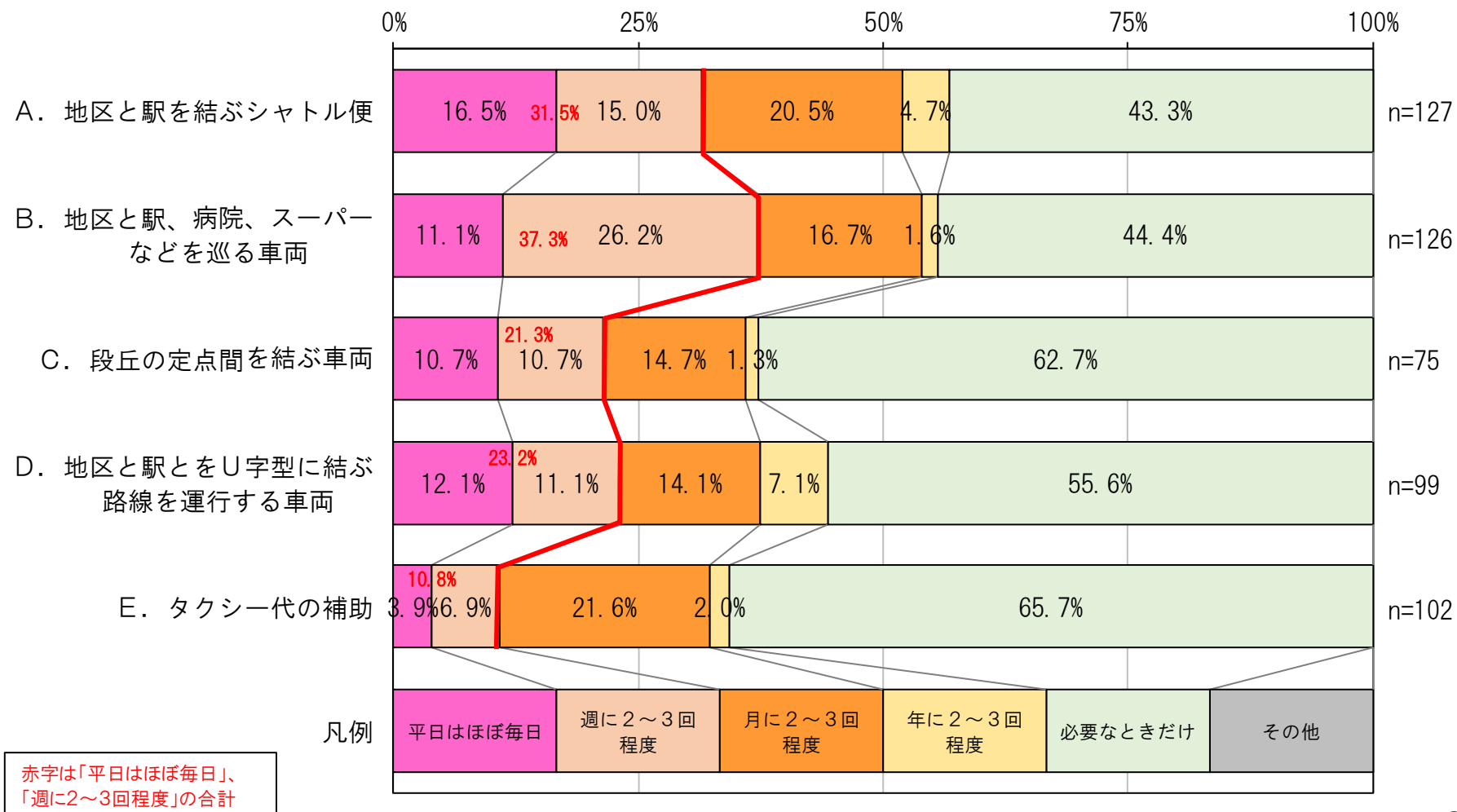
- 5つの公共交通サービスの候補は、いずれも利用意向が60%を超えています。
- このうち、「A. 地区と駅を結ぶシャトル便」が82.4%で最も利用意向が高く、また「ぜひ使いたい」という人も25%を超えています。



## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■利用頻度

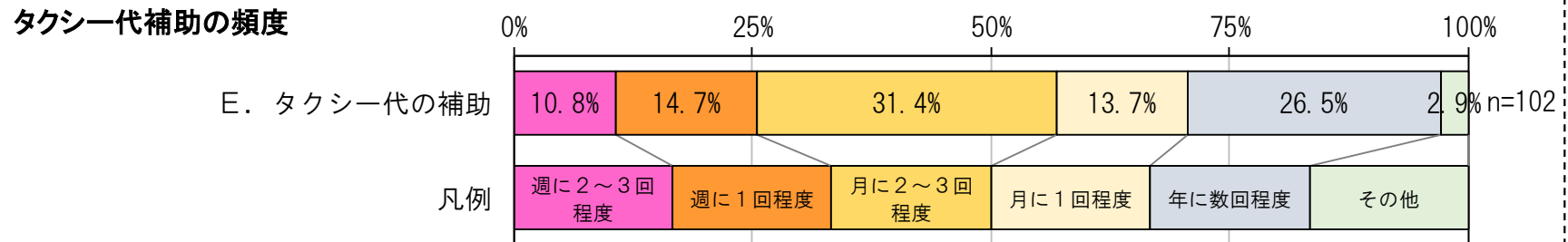
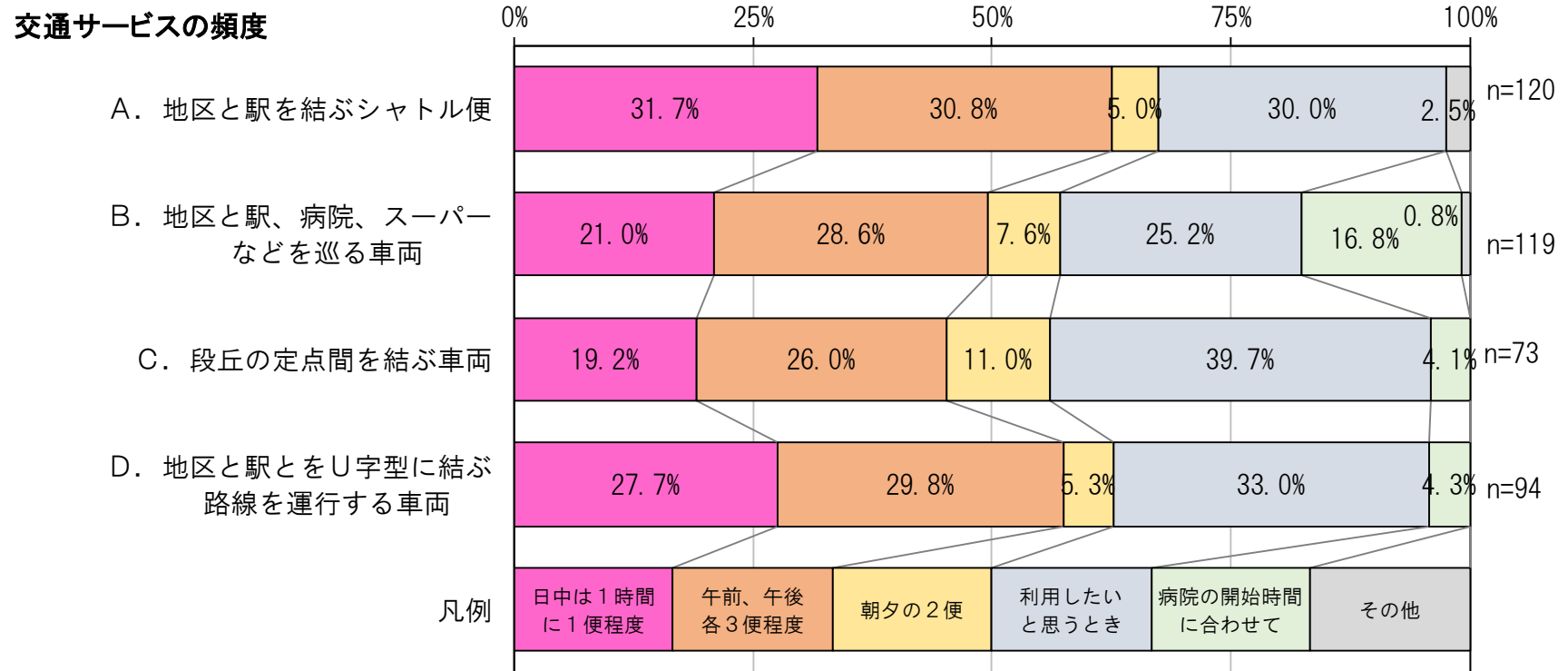
- 「B. 地区と駅、病院、スーパーなどを巡る車両」、「A. 地区と駅を結ぶシャトル便」の2つは30%以上の方が「週に2～3回程度」以上利用したいと答えています。



## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■ 運行頻度

- 「A. 地区と駅を結ぶシャトル便」「D. 地区と駅とをU字型に結ぶ路線を運行する車両」は「日中は1時間に1便程度」を求める人が多くなっています。

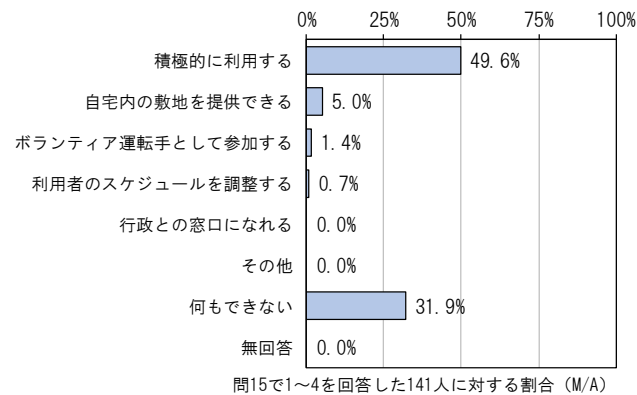


## 2. アンケート調査の結果（概要）

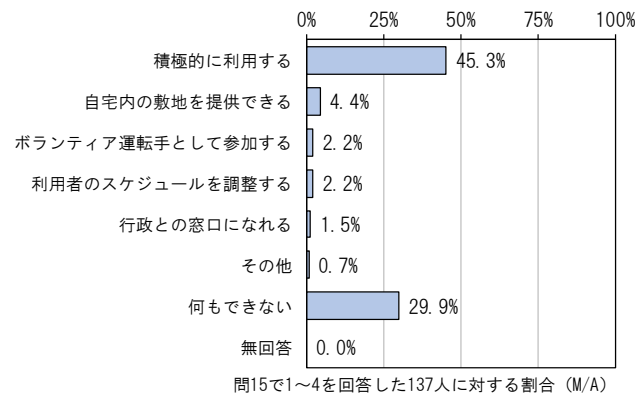
### ■輸送サービスに対する支援

- いずれのサービス候補についても、「積極的に利用する」という人は40%前後となっています。
- 「A. 地区と駅を結ぶシャトル便」～「D. 地区と駅とをU字型に結ぶ路線を運行する車両」については、複数の方から「自宅の敷地を提供できる」という回答がありました。

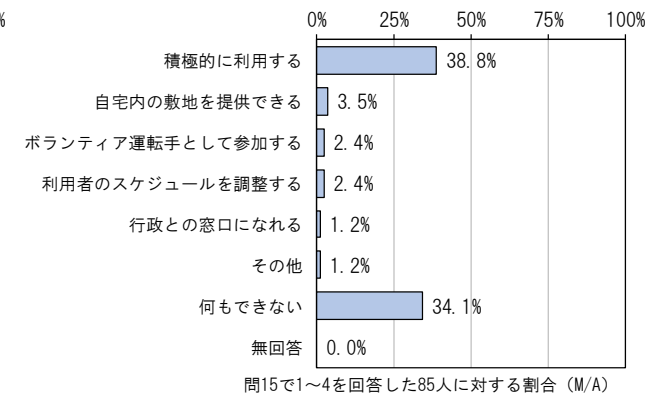
A. 地区と駅を結ぶシャトル便



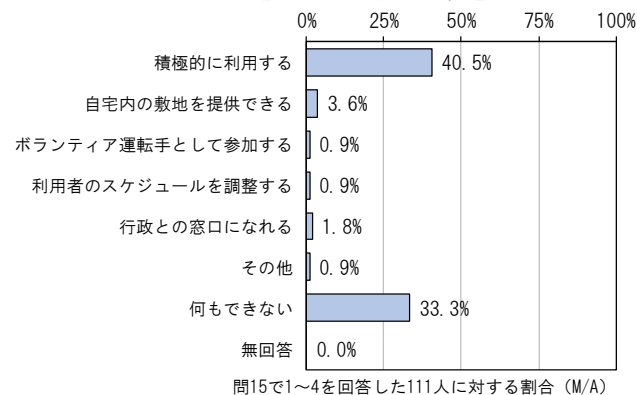
B. 地区と駅、病院、スーパーなどを巡る車両



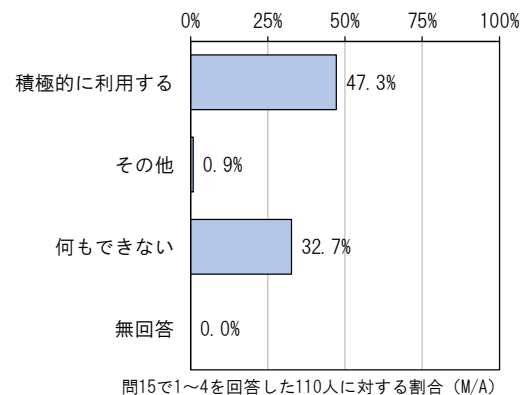
C. 段丘の定点間を結ぶ車両



D. 地区と駅とをU字型に結ぶ路線を運行する車両



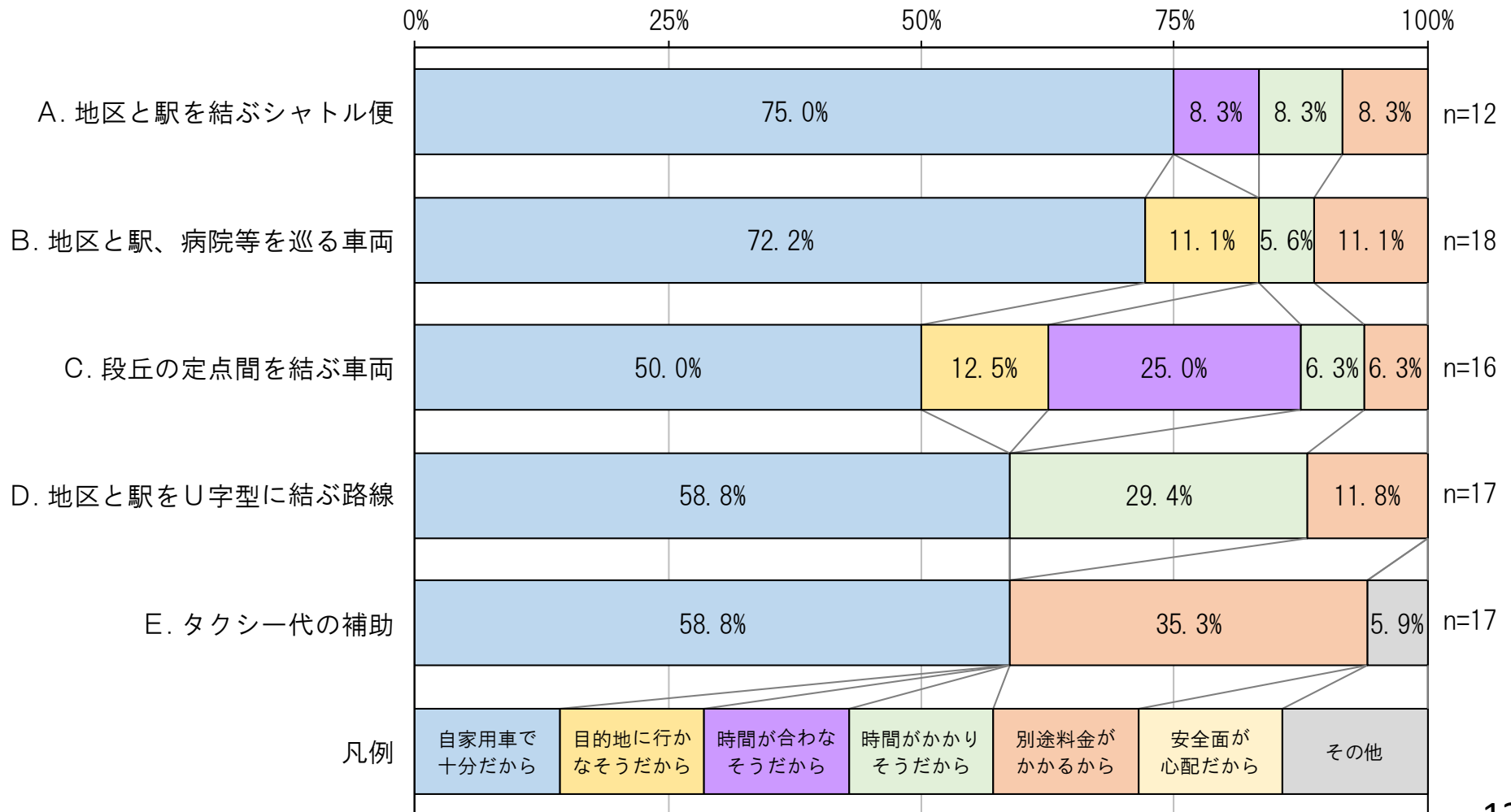
E. タクシー代の補助



## 2. アンケート調査の結果（概要）

### ■ 利用しない理由

- いずれのサービス候補も、「自家用車で十分だから」の割合が高くなっています。



# この地区の交通サービスに関する地区の素案の確認

## この地区の交通サービスに関する地区の素案

### 1. この地区の交通サービスの目的

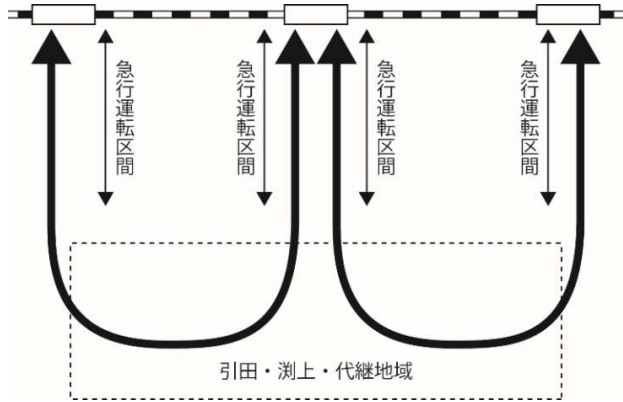
鉄道駅や病院、買物に行く交通を確保する。

### 2. 主な利用者の想定

- 高齢者
- 自分で車を運転できない方※
- 子ども、女子中高生など

※「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含みます。

### 3. 交通サービスの候補

分類	交通サービスの候補	サービス内容
定路線型の交通～小型バス(10人乗り程度)を想定	① 地区と駅を結ぶシャトル便	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引田・湍上・代継地区とJR五日市線の駅との直行便を運行する。</li> </ul>
	② 地区と駅、病院、スーパー(イオンなど)などを巡る車両	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引田・湍上・代継地区と駅、病院、スーパーなど各施設を巡る車両を運行する。</li> </ul>
	③ 段丘の定点間を結ぶ車両	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引田・湍上・代継地区内と、バス停、駅、病院、スーパー等が存在する北側方面とを結ぶ南北方向の路線で、複数の地点を経由する車両を運行する。</li> </ul>
	④ 地区と駅とをU字型に結ぶ路線を運行する車両	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引田・湍上・代継地区とJR五日市線とをU字型に連絡する路線で、車両を運行する。</li> </ul> 
ドアtoドアの交通	⑤ タクシー代の補助	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー代を補助する。</li> </ul>

# 本日のグループワークについて

## 第3回ワークショップ

- この地区の交通サービスの方向性（素案）の確認
- それぞれの交通サービスのメリットとデメリット（良い面と悪い面）



## 第4回ワークショップ

この地区の交通サービスに関する地区の素案

↓（交通サービスの5候補）

交通サービスの優先順位付け

### グループワーク1

交通サービス（候補）に優先順位をつけていただきます。



優先順位の高い交通サービス

協力していただけることの見出し

### グループワーク2

これらの交通サービスを入れる際に、協力していただけることをお聞きします。





# グループワーク（1）

交通サービス（候補）に優先順位をつけると、  
どのようになりますか？

- 14ページに示した交通サービスの候補に優先順位をつけると、どのようになりますか？

グループワーク（1）の流れ（それぞれのテーブルで）

- 地区へのアンケート調査結果
- この地区の交通サービスに関する地区の素案

↓ 総合的に判断

1) 回答用紙に、優先順位の高い交通サービス（上位3つ）の番号を記入

↓

2) それぞれのテーブルでまとめ

## グループワーク（２）

この地区に交通サービスを入れる際に、協力していただけることはありますか？

- グループワーク（１）を踏まえて、全体での優先順位が高い交通サービス（上位3つ）を入れる際に、何か協力していただけることはありますか？

グループワーク（２）の流れ（それぞれのテーブルで）

1) やることの確認



2) それぞれ付箋に記入。  
付箋を模造紙に整理し、テーブル内で意見出し。



3) それぞれのテーブルでまとめ。

# ワークショップのまとめ

## ワークショップ（第1回～第4回）



「新たな公共交通の導入は必要なのか」、  
「必要な場合、どのような交通手段を入れるのがよいか」ということについて、地区としての案をまとめました。



今後の取組を進めるうえでの検討材料として活用します。

### 〈今後の市の動き〉

- ・市が設定した4つの「公共交通優先検討区域」（深沢区域、引田・代継・網代区域、草花折立下区域、東秋川橋西側区域）での案を踏まえ、この4つの区域のうち、優先的に対策が必要な区域がどこかを考えます。

（どの区域で実証実験を実施するかは現段階では未定です）

- ・実証実験の実施に向けて、各種の調整を進めてまいります。

